

いのちを守る福祉・防災都市東京へ！ 都政に憲法を！

都民がつくる革新都政

2012年6月15日 発行 = 革新都政をつくる会 発行人・中山 伸 〒170-0005 豊島区南大塚 2-33-10 東京労働会館 5F 電話 (5978) 4031 ホームページ: http://kakushintosei.org/ E-mail: info@kakushintosei.org (1部25円、送料は別途)



首都・東京の防災を考える懇談会に集まった防災問題の研究者関係者や都民＝2012年6月1日、四谷・プラザエフ主婦会館

大都市の「スーパー災害」をいかに防ぐか 予防を第一とした防災対策は喫緊の課題 東京の防災を考える懇談会を準備

3・11東日本大震災は、甚大な被害を及ぼし、防災対策の遅れは、都民・国民に大きな不安を広げています。同時に、日本は「地震の再活性期」に入り、首都直下地震の切迫がメディアでも大きく報道されています。今、都民のいのちと財産を守る防災対策の確立が、喫緊の課題となっています。こうした中で革新都政をつくる会は、各界・地域の防災対策への研究や取り組み、要求を結集し、教訓に学び、都民本位の防災対策を策定することをめざして、6月1日、「首都・東京の防災を考える懇談会」を四谷・プラザエフ主婦会館で開催しました。防災問題の研究者関係者や都民など72人が参加し、活発に質疑・討論が行われ、引きつづき今後も幅広い「懇談」の場を継続していくことを確認しました。

冒頭、中山伸「会」事務局長が主催者を代表して、開催経過も含めて次のようにあいさつしました。 「石原都政13年の防災対策は、人命軽視、予防からの撤退と自己責任論の持込でした。東京都は、9月に『地域防災計画(素案)』を発表する予定ですが、災害を未然に防ぎ、都民の目線に立った防災対策を確立することが求められています。革新都政をつくる会は、防災対策を直面する都政政策の重点の一つとして、9月の防災の日をめざして、『シリーズ学習会』を行ってきました。先月には『大都市スーパー災害』に備える

5つの提言を発表しました。増加や超高層ビルの林立など、どの危険性が反映されておらず、数値の絶対化はできないと指摘しました。科学的・民主的な立場から防災問題に関心のある方々が広く結集いただく場として、懇談会を設定しました。『大都市スーパー災害』に関する知見と情報の交流を行い、防災政策の検討や研究発表などの共同を推進する契機となれば幸いです。懇談会は、座長に鈴木浩氏(福島大学名誉教授)を選出して進められました。鈴木氏は、はじめに自ら

が携わる福島県浪江町復興計画を通して原発事故の苛酷な実態を述べ、「3・11」が日本の特別な状況(①経済の低迷②政治的混乱③社会的不安定)の中で起きた事故であり、日本のガバナンスが問われ、政府と地方自治体、コミュニティーを結びつけることが必要だと問題提起をおこないました。 日本科学者会議・災害問題研究委員の中山俊雄氏は、3・11の「想定外」とは、いったいなんだったのか、「被害想定」はルーチン化された作業であり、都の被害想定の数値には人口

都民のくらしが不安定な雇用と賃金・年金の切り下げ、国保・介護保険料の値上げで厳しさを増し、野田民主党が民意に反し、



くらし、雇用、医療、教育、福祉、地域経済を守れ、五輪招致より都民のくらしを！震災復興を！とシュプレヒコールを行う参加者＝2012年6月5日、都庁第1庁舎前

原発なくせー子ども守れ！ 五輪招致より都民のいのち・くらし、福祉第一に 「2定」開会日行動

この都民が署名して求めた「東京電力管内の原子力発電所の稼働に関する東京都条例」が提案されます。革新都政をつくる会は、都民が主人公の都政への転換を求めて開会日の5日、都庁で出勤する都職員・都民に開会日の早朝宣伝を行いました。 号外「今こそ都政に憲法を！くらし、福祉を第一に！」 「安全・安心」脱原発・防災・福祉の東京を」を配布して、「会」代表世話人、各団体の代表が都民不在の石原都政を告発し、都民要求実現のために力を合わせようと呼びかけました。 訴えたのは、伊藤潤一(東京地評議長、今井晃東京民医連事務局長、工藤芳弘都

ツク、ライフラインよりライフボックスを、そして自分で判断できる市民になる」ことを強調。地域防災計画は、都民の意見を入れるチャンスと述べました。 新婦人本部の酒井つるさんは、東村山支部が市

- <呼びかけ人> 伊藤潤一(東京地評議長) 浦野正樹(早大教授) 坂巻幸雄(防災首都圏懇談会代表) 柴田徳衛(東京経済大学名誉教授) 鈴木浩(福島大学名誉教授) 関口慎雄(臨海都民世話人) 千代崎一夫(住まいとまちづくりコープ代表) 中島朋子(和洋女子大学教授) 中村八郎(都市防災研究家) 中山俊雄(日本科学者会議) 濱田政則(早大教授) 松木康高(新建東京支部) 村松加代子(建設政策研究所) 山下千佳(新建東日本大震災復興支援会議事務局次長) 中山伸(革新都政をつくる会事務局)

内部の16班すべてで防災ウォッチングに取り組んだことを発表。その結果を「要望と提言」にまとめて市に提出し、行政とともに防災に強い街づくりをすすめていることを紹介しました。 日本共産党都委員会自治

参加者からは、都が発表していた「新たな被害想定」や木造住宅密集地対策問題・安全な街とコミュニティーづくり、集合住宅の震災問題、原発、外環道、障害者等災害弱者の問題など質問や意見、要望が次々と出されました。 最後に座長まどめの発言として鈴木氏は、「3・11」の教訓として個性ある「デ・イリプロダクト」を地域の中で生み出していく地域

この都民が署名して求めた「東京電力管内の原子力発電所の稼働に関する東京都条例」が提案されます。革新都政をつくる会は、都民が主人公の都政への転換を求めて開会日の5日、都庁で出勤する都職員・都民に開会日の早朝宣伝を行いました。 号外「今こそ都政に憲法を！くらし、福祉を第一に！」 「安全・安心」脱原発・防災・福祉の東京を」を配布して、「会」代表世話人、各団体の代表が都民不在の石原都政を告発し、都民要求実現のために力を合わせようと呼びかけました。 訴えたのは、伊藤潤一(東京地評議長、今井晃東京民医連事務局長、工藤芳弘都

野田首相が「命を懸けて」の消費増税法案「国会で成立させるべき」17%「こだわるべきではない」72%(朝日4/5日)。大飯原発再稼働について、「急ぐべきではない」71%、「毎日2、3日、いずれも世論調査の結果、民意は政府の意向にノーを突き付けている。TPP参加も同じだ。大手メディアが「税と社会保障の一体改革」や電力不足を大合唱しても民意は揺るがない。むしろ広がっている。政治とは一体なんなのだ」東京都議会第2回定例会が5日開会。石原都知事は所信表明で、都民の賛成が47%(IOC調査)にとどまって、09年の調査より9%も低いにもかかわらず、改めて2020年五輪招致の推進を示した。また原発再稼働の是非を問う都民住民投票について「国が判断すること」と反対を表明▼一方、尖閣諸島(沖縄県)の購入について来年4月の所有権移転をめざすと述べた。すでに5月25日の記者会見で「尖閣を取らねば日本の領土でなくなるのは忍びない。国がやらなければならない。東京がやっただ」と吠えた。ご都合主義と偏狭なシナリオリズムで都政をもてあそばさずとは許せない▼今日も「人身事故」で電車が止まった。都(国民のくらし)を守る政治ではないのか。(高)

この都民が署名して求めた「東京電力管内の原子力発電所の稼働に関する東京都条例」が提案されます。革新都政をつくる会は、都民が主人公の都政への転換を求めて開会日の5日、都庁で出勤する都職員・都民に開会日の早朝宣伝を行いました。 号外「今こそ都政に憲法を！くらし、福祉を第一に！」 「安全・安心」脱原発・防災・福祉の東京を」を配布して、「会」代表世話人、各団体の代表が都民不在の石原都政を告発し、都民要求実現のために力を合わせようと呼びかけました。 訴えたのは、伊藤潤一(東京地評議長、今井晃東京民医連事務局長、工藤芳弘都

都政転換 私の願 11

人権侵害当たり前!? 石原都政下の障害児教育

— 障害者の願い実現する都政を —



小林 良廣 (障害者と家族の生活と権利を守る都民連絡会・会長)

人権侵害が当たり前... 石原都政下の障害児教育... 小林良廣のインタビュー...

この裁判の結果は、国からの和解の申し入れを受け「自立支援法を廃止し、新法をつくる」という国との基本合意を取り交わし...

4月からの年金引き下げという痛ましい事件が相次いでいます。札幌市白石区に続き、後期高齢者医療保険料の引き上げなど都民生活は、ますます困難になっています...

「不正受給」キャンペーンと生活保護制度改悪の動き... 不正受給の増加と生活保護制度の改悪...

生活保護制度改悪の動き... 不正受給の増加と生活保護制度の改悪...

生活保護制度改悪の動き... 不正受給の増加と生活保護制度の改悪...

生活保護制度改悪の動き... 不正受給の増加と生活保護制度の改悪...

生活保護制度改悪の動き... 不正受給の増加と生活保護制度の改悪...

『破壊的教育改革』のめざすもの 特定価値観の強制的な刷り込み

石原都知事は「破壊的な教育改革」をめざし、昨年11月に、「教育再生・東京円卓会議」を知事自ら主宰し、会議を重ねています...

この知事の発言に基づいて、4人の参加者が意見を述べました。その際に、一人の発言者は、都知事に同調し、激しい言い方で、今までの教育の在り方を否定しました...

都知事の教育についての考えは、今の青年たちは弱く耐性がない。それを厳しく鍛え直すとともに、これからの子どもたちの教育...

都知事の教育についての考えは、今の青年たちは弱く耐性がない。それを厳しく鍛え直すとともに、これからの子どもたちの教育...

都知事の教育についての考えは、今の青年たちは弱く耐性がない。それを厳しく鍛え直すとともに、これからの子どもたちの教育...

都知事の教育についての考えは、今の青年たちは弱く耐性がない。それを厳しく鍛え直すとともに、これからの子どもたちの教育...

都知事の教育についての考えは、今の青年たちは弱く耐性がない。それを厳しく鍛え直すとともに、これからの子どもたちの教育...

都知事の教育についての考えは、今の青年たちは弱く耐性がない。それを厳しく鍛え直すとともに、これからの子どもたちの教育...

終始しました。最後のまとめで都知事は、「日本は今までの65年間、ずっと緊張感がなかった。それで、今日のみなさんのようにてんでばらばらに言いたいことを言っているような社会になってきた。このままでは厄介なことになる。とにかく垂直な価値観を受け継いでいく努力をしなければならぬ。」と、参加者の多くが自分と同じ論調でなかったことに失望の色をあらわにしました。

では、特定の価値観を強制的に刷り込むというものは、今後とも耳を貸さず、破壊的な教育改革を推し進めようとするのでしょうか。【東京都教職員組合・意見を書くと言いつつも、何としても都知事の目指す副委員長 大山圭湖】

自分の意に反する意見に「破壊的な教育改革を阻止し、子どもたちの笑顔が輝く学校をめざしましょう」という。【東京都教職員組合・副委員長 大山圭湖】

自分の意に反する意見に「破壊的な教育改革を阻止し、子どもたちの笑顔が輝く学校をめざしましょう」という。【東京都教職員組合・副委員長 大山圭湖】

自分の意に反する意見に「破壊的な教育改革を阻止し、子どもたちの笑顔が輝く学校をめざしましょう」という。【東京都教職員組合・副委員長 大山圭湖】

自分の意に反する意見に「破壊的な教育改革を阻止し、子どもたちの笑顔が輝く学校をめざしましょう」という。【東京都教職員組合・副委員長 大山圭湖】

自分の意に反する意見に「破壊的な教育改革を阻止し、子どもたちの笑顔が輝く学校をめざしましょう」という。【東京都教職員組合・副委員長 大山圭湖】

自分の意に反する意見に「破壊的な教育改革を阻止し、子どもたちの笑顔が輝く学校をめざしましょう」という。【東京都教職員組合・副委員長 大山圭湖】

市民派市政の新たな発展へ 狛江市長選 田辺良彦氏を推薦



狛江市長候補 田辺良彦氏

狛江市長選挙が6月17日(日)告示、24日(日)で行われます。革新都政をつくる会は、5月21日第7回代表世話人会が、全国14地裁で違憲訴訟を起しました。

この裁判の結果は、国からの和解の申し入れを受け「自立支援法を廃止し、新法をつくる」という国との基本合意を取り交わし...

4月からの年金引き下げという痛ましい事件が相次いでいます。札幌市白石区に続き、後期高齢者医療保険料の引き上げなど都民生活は、ますます困難になっています...

「不正受給」キャンペーンと生活保護制度改悪の動き... 不正受給の増加と生活保護制度の改悪...

「不正受給」キャンペーンと生活保護制度改悪の動き... 不正受給の増加と生活保護制度の改悪...

「不正受給」キャンペーンと生活保護制度改悪の動き... 不正受給の増加と生活保護制度の改悪...

「不正受給」キャンペーンと生活保護制度改悪の動き... 不正受給の増加と生活保護制度の改悪...

では、特定の価値観を強制的に刷り込むというものは、今後とも耳を貸さず、破壊的な教育改革を推し進めようとするのでしょうか。【東京都教職員組合・意見を書くと言いつつも、何としても都知事の目指す副委員長 大山圭湖】

自分の意に反する意見に「破壊的な教育改革を阻止し、子どもたちの笑顔が輝く学校をめざしましょう」という。【東京都教職員組合・副委員長 大山圭湖】

自分の意に反する意見に「破壊的な教育改革を阻止し、子どもたちの笑顔が輝く学校をめざしましょう」という。【東京都教職員組合・副委員長 大山圭湖】

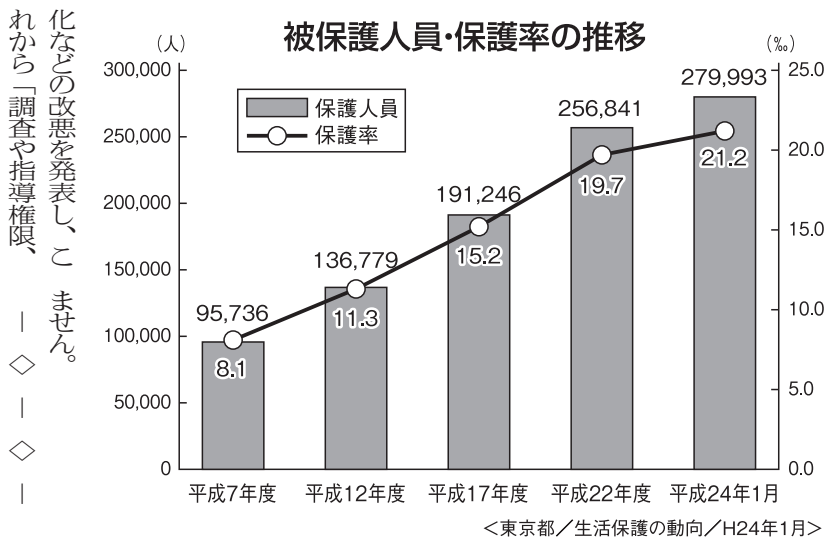
自分の意に反する意見に「破壊的な教育改革を阻止し、子どもたちの笑顔が輝く学校をめざしましょう」という。【東京都教職員組合・副委員長 大山圭湖】

自分の意に反する意見に「破壊的な教育改革を阻止し、子どもたちの笑顔が輝く学校をめざしましょう」という。【東京都教職員組合・副委員長 大山圭湖】

自分の意に反する意見に「破壊的な教育改革を阻止し、子どもたちの笑顔が輝く学校をめざしましょう」という。【東京都教職員組合・副委員長 大山圭湖】

自分の意に反する意見に「破壊的な教育改革を阻止し、子どもたちの笑顔が輝く学校をめざしましょう」という。【東京都教職員組合・副委員長 大山圭湖】

6・24防災ウォッチングバスツアー 日時:12年6月24日(日)午前9時30分 集合:東京駅丸の内北口 定員:40名 参加費:3,500円(バス代・資料代・昼食代込み) 申込先:革新都政をつくる会(FAX03-6978-5052)



被保護人員・保護率の推移 (東京都/生活保護の動向/H24年1月)